

シラバス参照

授業科目名	コミュニケーション論
単位数	1
授業形態	講義
講義コード	6006
授業担当者氏名	米津亮(ヨネツ リョウ) 田中繁治(タナカ シンゲハル)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	<ul style="list-style-type: none"> ●医療従事者として実践する基本的態度や行動について、理解できる(DP2.4.7.8.9)。 ●医療従事者として自分軸を形成する態度や行動を修得する(DP7.8.9) 	
授業概要	<p>本授業では、リハビリテーションの医療従事者として兼ね備えないといけないコミュニケーション能力について教授します。そのためには、他者の気持ちを理解すると同時に、医療従事者としての考えを基にコミュニケーションを図る能力が求められます。このような点を、ディスカッションやロールプレイ、さらにはプレゼンテーションなどを通して、学修してもらいます。</p>	
教育課程内の位置づけ	基礎教養科目 人間と社会・文化 1年 必修科目	
授業におけるアクティブな特徴	特徴	該当
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	
	B: 課題解決型(PBL)連携なし	
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○
	D: グループワーク	○
	E: プレゼンテーション	○
	F: 実習、フィールドワーク	
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○
	I: 反転授業	
	J: 外国語のみで行われる授業	
	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
実施形態	対面授業科目	
実施形態について	<p>※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目: 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目: 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる可能性があります。 変更の場合はmanaba等で連絡します。</p>	
授業計画	第1回	オリエンテーションおよびロールプレイ①(挨拶: 自己紹介)
	第2回	ロールプレイ②(挨拶: 医療従事者としての配慮)
	第3回	ディスカッション①(自分軸の形成: 自分史の振り返り)
	第4回	ディスカッション②(自分軸の形成: 文化とのつながり)
	第5回	グループワーク(医療従事者としての基本的態度からみえるコミュニケーション能力)
	第6回	医療従事者のコミュニケーション能力
	第7回	プレゼンテーション(医療従事者としての基本的態度からみえるコミュニケーション能力)

授業外学修 予習(事前学 修)	各授業	本授業では、ロールプレイやディスカッション、プレゼンテーションを積極的に導入しています。事前学修をしっかりと、授業に臨んでください。
	[平均 100 分]	
授業外学修 復習(事後学 修)	各授業	授業を通して学修したことを、しっかり復習してください。
	[平均 100分]	
評価方法	出席10%、プレゼンテーション30%、レポート課題60%で評価します。	
教科書等	教科書は指定しない。授業資料は、Manabaに掲示するので、必要に応じて各自印刷してください。	
課題に対するフ ィードバックの 方法	manabaの個別指導コレクション等を使用して、適宜フィードバックします。	
その他	この授業は、2年次の各専攻の臨床実習に知識・技術を活用することが出来ると思います。当然と思えることを、医療従事者として観点から理由付けして、しっかり身につけていきましょう。	
授業担当者の 実務経験の有 無	実務経験あり	
「授業担当者の 実務経験の内 容」および「実 務経験を活か した授業内容」	担当者は、病院・施設で医療従事者として勤務した経験を有します。その経験を基に、医療従事者としての基本的態度からみえるコミュニケーションについて授業を展開します。	
ファイル		